

(一財)北海道開発協会では、地域情報発信支援事業を実施しています。留学生など外国人に直接地域に訪問してもらうことにより、地域資源の再発見とインバウンド観光振興に向けた情報発信活動を支援するものです。令和元年度は、札幌国際プラザと共催で2019年10月に浦河町でモニターツアーを行いました。

クローズアップ②

地域情報発信支援事業

浦河の魅力発信モニターツアー

共催：(一財)北海道開発協会開発調査総合研究所、(公財)札幌国際プラザ

< 1日目 (10月26日 土曜日) >

今回のモニターツアーに参加した外国人は、アジア4カ国、欧米4カ国の20名です。

アイヌ文化の体験

1日目は、浦河町堺町生活館を訪れアイヌ文化を体験しました。最初はアイヌ料理の昼食で、献立は、チェブオハウ(鮭と野菜の塩味汁物)、コキンピアマム(豆とイナキビ入りご飯)、コンブシト(昆布たれの団子)、チマチュプ(焼き鮭)、プクサチケナ(キトピロ(行者ニンニク)のしょうゆ煮)、エントウセイ(シソ科のナギナタコウジュのお茶)です。食事をしながらアイヌ文化の紹介ビデオを観ました。次にアイヌ民族に伝わる竹製の楽器「ムックリ^{*1}」の鳴らし方を学び、使用したムックリは、記念品として持ち帰ることができました。さらに地域の方々と一緒にアイヌ古式舞踊

に参加し、楽しく踊りました。おしまいはアイヌの民族衣装「アットゥシ」を着ての記念撮影です。全員が色々な紋様の衣装を着て、とてもうれしそうでした。

乗馬体験、乗馬療育

浦河町は、サラブレットの産地としても有名です。一行は、浦河町乗馬公園で乗馬体験をしました。はじめて馬に乗る参加者もいたので、引馬による乗馬となりました。馬に乗った目線の高さに感激です。浦河町では、障がい児の療育と、高齢者の介護予防のための乗馬療育をおこなっています。地元のNPO法人ピスカリから、乗馬によるストレス減少や、うつ状態の気分が改善する



効果、姿勢、歩き方、体のバランスが改善することを教わりました。

< 2日目 (10月27日 日曜日) >

自国料理づくり、町民交流

2日目は、浦河町ふれあい会館で、大人、子どもあわせて50名以上が集まり交流しました。料理交流では、町民と一緒に、参加者の出身地イランの「イラン風オムレツ」、中国の「コーラ手羽先」をつくりました。外国人は、町民に「おにぎり」のつくり方を教わり、和気あいあいと、交流を楽しみました。料理を担当しない人は、けん玉、おはじき、めんこ、折り紙等で子どもたちと一緒に楽しく遊びました。その後、みんなで料理を食べながら、あらかじめ撮影し編集した、馬や港など浦河町の魅力がいっぱいのPR動画を観ました。

参加者の感想

参加者のアンケート結果は、アイヌ文化の体験では、興味深い、もっと知りたいという意見が多くあり、乗馬体験では、まちかで観た馬がかわいい、馬に乗ったのが初めてで、貴重な体験ができたという意見がありました。最も多かった意見では、終始、どこにいても町民の方がやさしく、親切だったということでした。

情報発信

この2日間の体験ツアーの様子やまちの景観を外国人たちがInstagram、フェイスブック等で発信したことで、浦河町の魅力を海外にもPRすることができました。また、今回のモニターツアーの様子を含めた、まちのPR用動画を活用してもらうことで、浦河町の魅力をさらにわかりやすく発信することができ、観光振興に結びつくことを期待しています。



*1 ムックリ (mukkuri)

アイヌ民族に伝わる竹製の楽器。口琴と呼ばれる楽器の一種。